

令和6年 7月吉日

各高等学校長 殿

山形県高等学校体育連盟
柔道専門部長 栗原 裕俊
<公印省略>

第65回山形県高等学校新人柔道大会の開催について

日頃より県高体連柔道部にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
さて、標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますので、貴校生徒の参加についてよろしくお願
い致します。

記

- 1 主 催 山形県高等学校体育連盟 山形県教育委員会 (公財)山形県スポーツ協会
- 2 共 催 上山市 上山市教育委員会
- 3 主 管 山形県高等学校体育連盟柔道専門部 山形県柔道連盟 上山地区柔道連盟
- 4 期 日 11月2日(土) 計 量 10時00分～10時50分(男女個人選手)
審判監督会議 11時00分～11時30分
開 会 式 11時40分～
競技開始 12時00分～(男女個人試合)～表彰式
11月3日(日) 審判監督打合せ 9時00分～
競技開始 9時30分～(男女団体試合)～閉会式
- 5 会 場 上山市体育文化センター 〒999-3241 上山市けやきの森2番-1号 TEL 023-673-2288
- 6 競技規則
 - (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
 - ア 団体試合は、「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。チームの内容が同等場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
ただし、勝敗が決しない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。
 - イ 個人試合は、「技あり」以上または「僅差」(「指導」差2)とする。得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - (3) 個人試合において「同時反則負け」の場合、次の試合の出場者は、延長戦(ゴールデンスコア)によって決める。
 - (4) 試合時間は団体、個人とも3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、無制限とする。
 - (5) 柔道衣コントロールは一斉に行う。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」となる。

7 競技方法

(1) 男子団体試合

- ① 試合はトーナメント法で実施する。
- ② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。
- ③ チームの勝敗の決定は次による。
 - ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - エ ウで同等の場合は、「僅差」(「指導」差2)勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - オ エで同等の場合は、引き分けとし、代表戦を行い決める。

(2) 男子個人試合

- ① 体重別試合とし、トーナメント法で実施する。
- ② 1位、2位が強化指定選手となる。

(3) 女子団体試合

- ① 試合はトーナメント法で実施する。
- ② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。
- ③ チームの勝敗の決定は、男子と同じとする。

(4) 女子個人試合

- ① 体重別試合とし、トーナメント法で実施する。
- ② 1位、2位が強化指定選手となる。

8 参加資格

基本要項に準ずる。

9 参加制限

(1) 男子団体試合

- ① 各校1チームとする。
- ② 試合は5人の点取り試合とする。チームは監督1名、選手8名を申込み(登録)、2日目監督会議前に、オーダー用紙に選手5名と補欠1名を記入し提出すること。
- ③ オーダーが5人未満の場合は後ろ詰めとする。

(2) 男子個人試合

- ① 体重別試合とし、次の7階級とする。
60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者とする。(指定選手 名含む)
*指定選手:
- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

(3) 女子団体試合

- ① 各校1チームとする。
- ② 試合は3人の点取り試合とする。チームは監督1名、選手6名を申込み(登録)、2日目監督会議前に、オーダー用紙に選手3名と補欠1名を記入し提出すること。
- ③ オーダーが3人未満の場合は後ろ詰めとする。

(4) 女子個人試合

- ① 体重別試合とし、次の7階級とする。
48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者とする。(指定選手 名を含む)
*指定選手:
- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

(5) 脳震盪の対応について

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

10 参加申込

- (1) 基本要項に準ずる。
- (2) 但しメールによる専門部への参加申込は9月30日(月)12時まで「各地区理事」宛に申し込むこと
- (3) 「公印のある参加申込書」は大会初日(11/2)に審判監督会議受付へ提出すること。

1.1 参加料

- ・男子団体1チーム 3,000円 ・女子団体1チーム 2,000円
- ・男女個人1人 400円
- ・参加料は下記口座へ、9月30日(月)まで振り込むこと。ただし、手数料は各校負担。
庄内銀行鶴岡西支店 普通口座 口座番号1096858
ヤマガタケンコウタイレンジュウドウセンモンブ

1.2 組合せ

(1) 団体試合

- ① 男子は令和6年度県高校総体柔道大会ベスト4、各地区1位の順にシードする。
- ② 女子は令和6年度県高校総体柔道大会1・2位、各地区1位の順にシードする。
- ③ 同地区が各グループにベスト4等、バランスよく入るように組み合わせる。

(2) 個人試合

- ① 強化指定選手、地区1位の順にシードする。
- ② 同一校から2名以上出場の場合は、決勝又は準決勝まで対戦しないように配慮する。
- ③ 同地区が各グループにベスト4等、可能な限りバランスよく入るように組み合わせる。

(3) 組合せ抽選日(予定) 10月2日(水) 於;新庄東高校

1.3 連絡事項

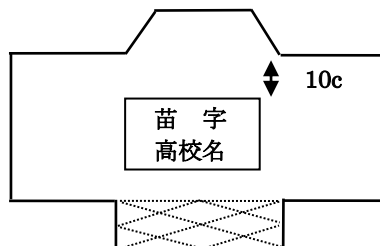
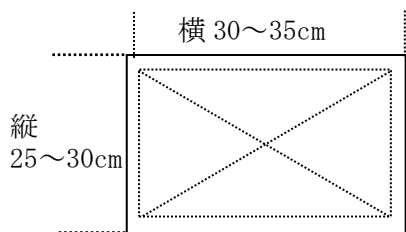
- (1) 男女団体試合の監督は、模造紙縦1/4(27cm)にて、右より縦書き(巾約13cm)学校名、大将、副将の順(女子は副将、次鋒をあける)に選手名を記入し、オーダー表とともに2日目監督会議前に角封筒に入れて提出すること。
- (2) 団体チーム及び個人の監督は、男女が同一にならないようにすること。また、試合中における「監督の行為・言動」、「罰則規定」については、十分理解しておくこと。
- (3) 前年度の男女の優勝校、及び個人優勝者の学校は優勝カップを持参し返還を行うこと。

1.4 その他

- 本大会の個人試合で、各階級決勝戦に進んだ者は、強化指定選手とする。
- この大会は、国体選手選考の参考資料となる。
- 計量にパスしない者、ゼッケンのついていない者は出場の資格を失う。
- ゼッケンについて

(図1) ゼッケンの縫い付け方

(図2) ゼッケンの位置



- ① 布地は晒太綾(さらしふとあや)を使用する。
 - ② 図2の位置に、図1の点線の部分を強い糸で縫い付ける。(縦横ならびに対角線)
 - ③ 苗字(姓)は、上側2/3 学校名は下側1/3とする。
 - ④ 書体は楷書で、男子は黒字、女子は赤字で書く。
 - ⑤ サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
- 女子のTシャツは無地白色とし、ワンポイントのマークは可とする。